

飼い主になったら必ず守ろう

犬のおさんぽマナー



愛犬を街の悪者にしないために、マナーを守ってお出かけしましょう。

トイレの後はキレイに

うんちは袋にいれて持ち帰り、おしっこはシートで吸い取り、水で流して、さらに消臭もしましょう。

家の中、もしくは自宅の敷地内でトイレを済ませてから、散歩に出かけると回数を減らせることができます。

忘れずに持っていこう



うんち袋



おしっこシート



お水



消臭剤

リードにつなごう

まわりの人への迷惑と犬の安全を考えて、散歩するときには必ずリードにつなぎましょう。とっさの行動にも対応できるように、リードは短めに持つことをおすすめします。

できればリーダーウォークをマスターしよう

リーダーウォークとは、飼い主がリーダーシップをとり、飼い主の横に犬をつけて歩かせるスタイルのことです。

犬と飼い主の主従関係があいまいだと、

犬がリードを引っ張りぐいぐいと先を歩いていくことがあります。

リーダーウォークができると、犬が車や自転車を追いかけることもなくなり、落ちついて散歩を楽しむことができます。

詳しいしつけ方法はプロのトレーナーにご相談ください。

発行：一般社団法人ロンリーペット

ペットショップへいく前に



ペットの
里親に
なろう！

LP
LONELY PET

たくさんのペットが 新しい家族を探しています。

ペットを飼いたいと思ったら、ペットショップへいくまえに、
里親になることを考えてみませんか。

日本には、家族のいないペットがたくさんいます。
小さな命を守ろうと活動している保護団体や個人ボランティアさんは
四六時中、その子に愛情をかけてくれる新しい飼い主を探しています。
里親はペットショップで購入するよりも、手間や時間がかかって
面倒なイメージを持つ人もいるかもしれませんが。
しかし、それ以上にひとつの命を救ったという深い喜びがあります。
日本では、年間約18万頭の犬猫が殺処分されていますが、
あなたが里親になることで、この数を一匹ずつ減らすことに貢献できます。

まずはペットの里親サイト「ロンリーペット」にアクセスしてみてください。
保護団体や個人ボランティアさんが保護している子の中に
運命の出会いがあるかもしれません。

ペットが捨てられる理由 (環境省調べ)

引っ越し	経済的事情からペット可の物件に引っ越せない	ペット禁止住宅	内緒で飼育していたことが知られた
育児	出産後は犬の世話まで手がまわらない	ペットの介護	高齢になったペットの介護が負担になった
アレルギー	家族がペットアレルギーを発症した	飼い主が病気になった	家族がペットの面倒をみるできない
近所からの苦情	吠えないように犬をしつけする時間がなく世間体が気になる	飼い主が亡くなった	のこされたペットを飼える家族がない

里親になるまでのステップ

1. ペットの里親募集サイト lonelypet.jp へアクセス



保護団体や個人ボランティアさんの募集の中から、あなたの好みの子を探してください。お住まいの地域、ペットの種類、フリーワードで検索できます。お目当ての子が決まったら、それぞれの保護元の譲渡の条件をよくお読みの上、お問い合わせください。

2. アンケート

保護元によってはアンケートをお願いする場合があります。こちらに答えていただき、譲渡の条件が合いましたら「お見合い」へ進みます。

3. お見合い

希望の子と直接対面し、引き取るか検討してもらいます。保護元にとっては、あなたに譲渡してもいいか検討する場でもあります。両者のどちらかが納得できない場合は、譲渡不成立になります。様子を見たい場合は、トライアル期間を希望することができます。

4. トライアル期間

あなたとその子の相性を見る期間です。先住犬や先住猫がいる場合は、その子と新しい子の相性を見るための期間でもあります。目安は1週間～1ヶ月。ここで譲渡不成立になる場合もあります。



正式譲渡!

おめでとうございます。
あなたの家族の一員として、末永く可愛がってあげてください。

里親になる前に、知っておきたい

犬を飼うってどんなこと？



あなたを最後まで信頼して愛してくれる生涯の友。それが犬です。愛情を注いだ分だけ、犬は応えてくれます。忠実にあなたと向き合います。あなたが悲しいとき、犬も悲しい気持ちになります。あなたが嬉しいとき、犬も嬉しくなります。まさに一心同体です。

また同時に、愛情が深い分だけ責任と義務も生まれます。あなたは、その子のまっすぐな想いを受け止めてあげられますか。

！ご主人様いのち

忠犬ハチ公に代表されるように、犬はご主人様命です。洋犬に比べて、特に和犬にその気質があります。犬はひとりの人間を自分のリーダーとして認識しますが、飼い主なら誰でも従うわけではありません。愛情を注ぎ、ゆるぎない信頼関係を育てて初めてあなたはその子の「ご主人様」になれるのです。そのためには、その子の幸せを真剣に考え、犬について積極的に勉強することが大切です。

！アウトドアの友

お散歩したり、ドライブしたり、時には旅行へいったり。犬と暮らす喜びは、断然アウトドアにあります。近頃は、ペット同伴で遊びにいける場所も増えているので、週末の楽しみがグッと広がります。



お散歩



カフェ



ドライブ



小旅行



ランニング



フリスビー



アジリティ



ダンス

！年に一度、狂犬病注射とワクチン接種

年に一度「狂犬病注射(義務)」と「混合ワクチン接種」が必要です。また、蚊のいる季節は月に一度「フェロリア予防」が欠かせません。

！しつけは、しっかりと

吠え癖がつかないように。人に飛びかからないように。犬はしつけが大切です。しつけ教室などプロの指導のもと、たくさんの人に愛される犬に育ててください。その際、注意したいのは、すぐ「いい子」になることを期待しないこと。なぜ問題行動を起こすのか、どういう性格の子なのか、見極めるつもりで気長に行ってください。そして、なるべく「褒めて」あげてください。体罰は決してしてはいけません。

！留守番が嫌い

犬はいつでもご主人様のそばにいたいと思っています。だから、「お留守番」が嫌いです。家族全員が外出してしまって、完全にひとりぼっちの状態になると寂しがります。長いお留守番がストレスになる子もいますので、なるべく早く帰ってあげてください。

！家の中で飼う愛情

犬だけ外に寝かせるのではなく、お家の中で家族と一緒に過ごさせてください。体の大きい子は、玄関先に寝どころをつくってあげるなど、スペースがなくても工夫できます。

！お散歩好き

一日の運動量を考えると、特に中型犬・大型犬は、毎日の散歩が欠かせません。犬は散歩が大好きなので、面倒くさいと思っては飼い主失格です。暑い日も、寒い日も、どんなに忙しい日も、あなたはその子を散歩へ連れて行ってあげられますか。

！年に2回、抜け毛シーズン

夏毛と冬毛。年に2回ある生え変わり時期には、大量の抜け毛が発生します。この時期はこまめなブラッシングとお掃除で乗りこえてください。プードルなど特定の犬種は毛が抜けませんが、そのかわり定期的なトリミングが欠かせません。

！食事代・医療費

犬の食事代の目安は年間約4万円～、医療費はワクチン・予防薬が年間約1万6千円～。病気になった場合、医療費はグンと上がります。日頃の健康管理が何よりも大切です。

里親になる前に、知っておきたい

猫を飼うってどんなこと？



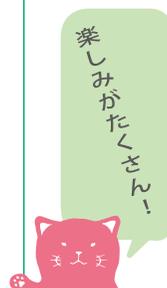
気分屋。マイペース。甘えたいときに甘えて、ひとりになりたいときは知らん顔。でも、情が薄いわけではありません。猫は家族と深い信頼と愛情を育みます。特に飼い主の前では、他人には見せない愛らしい一面を見せてくれます。そんな「ツンデレ」キャラの気ままな猫に、あなたもきつと虜になるでしょう。音に敏感で用心深い性格のため、静かで穏やかな生活環境を好みます。

🐾 ご主人様は自分

猫に命令はできません。「おすわり」や「お手」など、芸を仕込むこともできません。犬のような主従関係は持てません。たとえ、あなたの言うことを聞かなくても、怒らないでください。猫にとって、ご主人様とは自分のこと。自分に正直に生きる姿こそ、猫の美しさでもあります。気が向いたときに甘えて遊ぶ。お互いのペースでつきあえる。ちょっと大人な関係が猫との暮らしです。

🐾 インドアの友

猫は環境の変化を嫌います。だから、犬のように一緒に外へでかけることはできません。猫と過ごす場所は「家の中」です。一緒に昼寝をしたり、テレビを見たり、本を読んだり、インドア派には最高の友です。我家がより居心地のいい場所になることは間違いありません。



昼寝



ひなたぼっこ



テレビ鑑賞



読書



猫じゃらし



ひざまくら



かたぐるま



かくれんぼ

🐾 年に一度、ワクチン接種

猫には法律で義務づけられているワクチン接種はありません。でも、その子の健康のために年に一度は、健康診断と3種ワクチンの接種を心がけましょう。

🐾 しつけは、ほどほどに

トイレは比較的すぐ覚えます。爪研ぎも指定の場所を教えることができます。でも、完璧ではありません。基本的に犬のようなしつけはできないと考えてください。猫のいたずらには、モノが壊れないように工夫をするなど、予防策で対処しましょう。

🐾 留守番は気にしない？

猫は犬ほど留守番にストレスを感じないと言われています。でも、留守が多いご家庭は、できれば相性のいい猫友をいっしょに飼ってあげてください。猫友がいると2匹で遊んだり、ダンゴになって昼寝したり、あなたが忙しくても寂しい思いをすることがありません。仲のいい姿を見れば、あなたも気兼ねなく外出できます。初心者の方ほど2頭飼いを敬遠しますが、むしろ初心者の方にこそお薦めです。

🐾 外に出さない愛情

猫は外へ散歩に行くイメージがありますが、その子の安全を考えると、完全屋内飼いが理想です。外が見える窓と上下運動ができる環境であれば、ストレスなく暮らすことができます。外へ出ると、迷子や交通事故、怪我のリスクが高まるだけでなく、ご近所に猫が嫌いな方がいらした場合は、トラブルにも発展します。

🐾 グルメで清潔

猫はグルメと言われていますが、食に対するこだわりはそれぞれです。甘やかさずに、栄養バランスを優先した食事を与えてください。また猫は、自分でこまめに毛繕いをするので、特に短毛種の子であれば、シャンプーなどの手入れはさほど必要ありません。

🐾 年に2回、抜け毛シーズン

夏毛と冬毛。年に2回ある生え変わり時期には、大量の抜け毛が発生します。この時期はこまめなブラッシングとお掃除で乗りこえてください。

🐾 食事代・医療費

猫の食事代の目安は年間約4万円～、医療費はワクチン代が年間約4千円～。病気になった場合、医療費はグンと上がります。日頃の健康管理が何よりも大切です。

あなたは里親になれるかな？

- 家族全員が賛成していますか
- 避妊去勢手術を約束できますか
- 必要な医療行為を約束をできますか
- (犬の場合)犬の登録と狂犬病予防接種を約束できますか
- 譲渡の際、身分証明と契約書を交えますか
- 譲渡の際、飼育環境を確認させていただけますか
- 譲渡費用を負担できますか
- 最後まで愛情を持って飼えますか

※希望の子が見つかりましたら、保護元の譲渡条件を確認ください。

飼うまえによく考えて

ひとときの寂しさや、その子の見た目の可愛らしさで、犬や猫を衝動飼いしないように気をつけてください。飼う前に、よく考えてください。10年先、15年先まで、あなたは本当にその子に責任を持てますか。子犬や子猫は、あっという間に大きくなり、愛くるしい容姿は大人の姿へ変わります。自分に懐いてくれなかったり、吠え癖が直らず近所から苦情がきたり、予想外の事態に覚悟する必要があります。どんなことが起きても、一度飼ったら、途中で飼うのをやめることはできません。若い人は就職、結婚、出産など、今後の生活環境が変わっても、最後まで面倒を見る自信がありますか。猫アレルギーになる方も多いますが、万が一、アレルギーになった場合、あなたはその子をどうしますか。

「飼わない」という選択肢もあるからね



子犬・子猫の里親になる？

遊び盛りの子犬・子猫を迎えると、忙しいけれど、にぎやかで楽しい生活が始まります。子犬・子猫はとにかく好奇心旺盛。なんにでも興味を持ち、大はしゃぎします。うるさく家中を走り回りますが、大人になるにつれ落ち着きますのでやさしく見守ってあげてください。子犬・子猫の里親には、いっしょに遊んであげる時間的余裕のあるご家庭や遊び相手になれる小さなお子さんのいるご家庭が向いています。また、生後数ヶ月では判明しない病気もありますので、満1歳になるまでは、健康状態からも目が離せません。



成犬・成猫の里親になる？

成犬・成猫にはそれぞれ過去があります。離婚や引っ越しなどを理由に、前の飼い主に捨てられた子。虐待されているところを保護された子。心にまだ癒えない傷を抱えている子もいます。里親になる方は、その子の生い立ちをよく理解した上で、その子の問題行動にも気長につきあえるくらい、大きな愛情を与えられる方が向いています。また、成犬・成猫は性格や癖、健康状態がわかっていること、トイレなどのしつけがある程度されていること、遊び盛りを過ぎているため性格が落ち着いていることから、穏やかで静かな生活を送ることができます。



里親になるために 必要な費用

2～9万円が目安です

○譲渡費用（諸経費） 0～3万円くらい

保護現場では、その子にかかった医療費などの諸経費を里親になる方に請求することが一般的です。譲渡費用は次に保護する子の資金になりますので、ご理解ください。

○避妊去勢手術費 0～2万円くらい

引き取った子がまだ避妊去勢手術をしていない場合、必ず動物病院で行ってください。

○生活必需品 2～4万円くらい

ペットフード、キャリーバッグ、ケージ、トイレなど。新しい子を我が家に迎えるにあたって、買い揃えるものがいくつかあります。楽しい買物なだけに、つつい予算オーバーしがちなので、お財布とよく相談してください。

里親になるために 準備するもの



キャリーバッグ



ペットフード



首輪と迷子札



食器



ケージ／サークル



トイレ

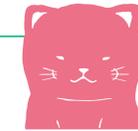
里親詐欺について

ペットの譲渡現場では「里親詐欺」と呼ばれる卑劣な詐欺行為が起きています。

- ・ペットを虐待するために里親になるケース
- ・実験動物として研究機関に売るために里親になるケース
- ・毛皮業者・三味線業者などに売るために里親になるケース

やさしい里親のふりをしてペットを譲り受け、その後、完全に音信不通になるのが典型的なパターンです。心配になった保護元が調べていくと他にも不自然なくらい多くのペットを同じひとりの人物がもらっていることがあります。里親詐欺は立証が難しく、立証できたとしても譲ったペットの行方はわからないまま。手元に戻ってくることは難しいです。

里親詐欺を防ぐためにご協力ください



身元証明をお願いします

譲渡の際、保護元は、里親が見つかったという嬉しさ反面、本当に最後までかわいがってもらえるか、詐欺ではないか、という不安もあります。実際、過去には詐欺による悲しい事件も起きています。そこで、多くの保護元では、運転免許証などによる身分証明と契約書(誓約書)へのサイン、そして、自宅確認等をお願いしています。ご協力ください。

里親になったら、保護元へ近況をお願いします

ペットの里親になったら、保護元へ写真といっしょに簡単な近況を送ってください。もらわれていった子が幸せに暮らしているという報告は、保護元を安心させるだけでなく、大きな励みにもなります。

毛皮製品を買わないでください

- ・ペットの里親詐欺には、毛皮業者関係者もいます。
- ・毛皮製品には、犬猫の毛が含まれている場合があります。
- ・毛皮は、まだ意識のある生きた状態の動物から皮を剥ぐ場合があります、とても残酷な製品です。殺されてから皮を剥がされる場合もありますが、その殺し方は決して安楽死ではありません。興味のある方は、YOUTUBE等のインターネットサイトを検索ください。

フェイクファーでも充分おしゃれは楽しめます。フェイクファーを選びましょう。